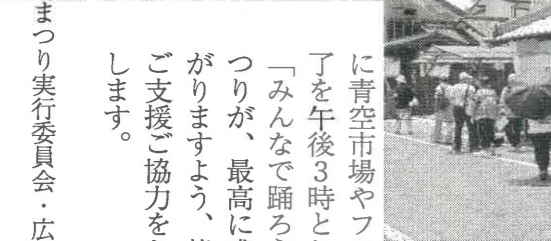


今年も宿場まつりの季節がやってきた。昨年は20回の節目の年で、天候にも恵まれ大勢の観客にお出で頂きました。街道全体が賑わい総踊りの輪も大きくなりました。

筑前六宿往時の面影を残す町並みや伝統行事・伝承芸能など、木屋瀬の歴史的文化財を活かした「文化の薫るまちづくり」をテーマとし「みんなで踊ろう宿場をどり」をコンセプトで始めたこのまつり、回を重ねることで地元をはじめ近隣の方々に定着してまいりました。

筑前各地の伝承盆踊りをメインに、今年も隣町植木の「筑前植木岡分流れ大名行列」の特別参加と、長崎街道筑前六宿開通四〇〇年事業の一環として六宿の代表小学校が参加する「プレこどもサミット」を新しく行ないます。

街道を活用した青空市場やフリーマーケット



「みんなで踊ろう宿場をどり」今年のもつりが、最高に盛り上がりです。皆様のご支援ご協力をお願いします。

総合問い合わせ先
長崎街道
木屋瀬宿記念館
093
619-1149

今年も宿場まつりの季節がやってきた。昨年は20回の節目の年で、天候にも恵まれ大勢の観客にお出で頂きました。街道全体が賑わい総踊りの輪も大きくなりました。

筑前六宿往時の面影を残す町並みや伝統行事・伝承芸能など、木屋瀬の歴史的文化財を活かした「文化の薫るまちづくり」をテーマとし「みんなで踊ろう宿場をどり」をコンセプトで始めたこのまつり、回を重ねることで地元をはじめ近隣の方々に定着してまいりました。

筑前各地の伝承盆踊りをメインに、今年も隣町植木の「筑前植木岡分流れ大名行列」の特別参加と、長崎街道筑前六宿開通四〇〇年事業の一環として六宿の代表小学校が参加する「プレこどもサミット」を新しく行ないます。

街道を活用した青空市場やフリーマーケット

第21回 筑前木屋瀬宿場まつり



道長崎街 寄太鼓 寄太鼓 寄太鼓
道長崎街 寄太鼓 寄太鼓 寄太鼓
道長崎街 寄太鼓 寄太鼓 寄太鼓

「みんなで踊ろう宿場をどり」今年のもつりが、最高に盛り上がりです。皆様のご支援ご協力をお願いします。

総合問い合わせ先
長崎街道
木屋瀬宿記念館
093
619-1149

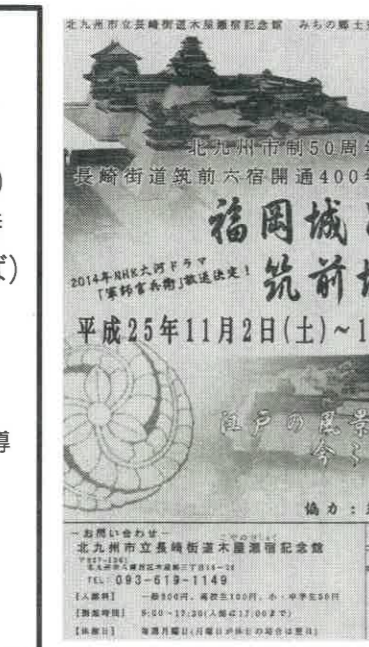


企画展のご案内
今回の企画展は、第52回企画展「福岡城と筑前城郭展」を平成25年11月2日(土)から行います。今回は福岡城も新たに加わり、去年の第48回企画展「城郭展」今よみがえる名城」に引き続き、第2弾という形で皆様楽しんでいただきたいと思います。

学芸員 高田 佳奈
ぜひお越しください。

ホームページ
http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisetsu/menu06_0005.html

挑戦！
年越し蕎麦は手打ちで！
○日時：平成25年12月28日(土) 10時～15時
○参加費：1,200円(実食:かもそば)
(材料費。7人分持ち帰れます)
※追加1,000円で別途7人分持ち帰れます。
○定員30名(予約制)
※蕎麦打ち名人に保存法、調理法ほかも指導していただきます。
○申込先：木屋瀬宿記念館
☎093-619-1149
■年越しそばの販売もしております。



木屋瀬宿安政六年「年中御用留」 《木屋瀬村宗旨未進判》其の二

木屋瀬みちの郷土史料保存会 松尾 良美

江戸時代中期以降になると交通制度も整い、道路や渡河などの管理と宿場の休泊施設も十分になってきた。これらの施設を利用しての物資の流通、庶民の旅が盛んになり、何かの生業にかかわる物件や信仰・物見遊山を目的とした旅が頻繁に行われた。

前号で記述したように、安政六年三月に組頭・庄屋の立合いで行われた宗旨改めに何等かの理由で、「誓紙判形」(署名血判)が出来なかつた者を連記した宗旨未進判帳には、五十人(男三十六人女十四人)であった。此は病氣 出稼ぎ、旅等で不在や参加できなかった名が記されている。同年八月には郡役所宗旨奉行宛に、木屋瀬宿組頭和三郎、庄屋佐平より「木屋瀬村宗旨未進判帳」という表題で、男三十四人女十四人の名が書かれていた。末尾の文面には、「右の者共、嘉永二年申六月依安政五年八月迄、追々村方(次々と村)出奔仕(行方が不明)当春(三月)宗

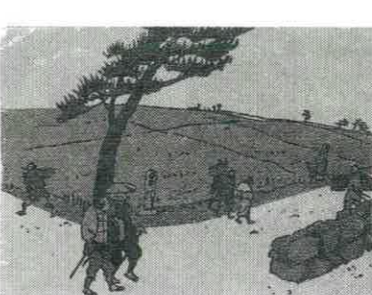


再び八月には、「木屋瀬村宗旨未進判者之者 御國中御触流御願申上ル事」という表題で郡役所へ注進(急ぎ報告の事)している。男女二十人の未進者の村方出立

年・名と年齢・人相・着用手帳を簡条書にして(別紙掲載)注進の本文は左記のとおりである。

「右の者共、追々村方出、行方相知不申二付、一族・組合中依、方々相尋候得共、一圓(全く)行方相知不申候、御國中御触流被仰付候、年令・人相、其節、着用衣類等、夫々書上候、右之段宜奉願上候」以上八月に二度も宗旨未進判が出された事は、宗旨奉行により厳しく宗旨改めを行い、未進者の行方を村方役人が把握させる触書が出されている。要約すると「宗旨御改之儀前々依御作法有、毎春於宗旨役所二申渡儀候ニ候、然ル処村役ヲ始、不心得之者茂有之」以上の触書が木屋瀬宿が属する上境村触の村々に流されている結果であろうかと思う。別紙に掲載の文面には、未進者の続柄を拾うと、血縁や家族間系を表す、女房・養子・娘・甥の言葉の他に、地縁関係を表わす、組合(五人組の同じ組合に属しているという意味で組頭の名を称する)何兵衛組合の何某とか、身分的従属関係を表わす名子という名称が使われている。

人相書では端的に面体や顔色や身体的特徴が表現されている。さて、最終的には当初の五十人より二十人に減っていった事は、未進者が順次に病気の回復や所用で出稼・旅をした者が帰つて宗旨改めに応じた事になる。出奔ともいえる年月が十年から三年以上になる男女六人だけとなる。「安政六年・年中御用留」には、三月の宗旨改め以後に「署名血判」を行ったことが記録されていないが、三度目の未進判帳二十人の名前の下に朱で丸印が付てある。これが多分宗旨改めに応じた者の印と推測でき、庄屋が出頭した彼等を直ちに召し連れて行つたと思われる。各村々より宗旨改めを統括する郡役所の宗旨奉行が、郡内を巡回するのが四月で、後に郡内の庄屋達を一堂に集めて速賀・鞍手郡内の宗旨改めが終つたことを告げた。問題は筑前領内での触流しがどのような手だてで行われたが不明であり、各宿場の旅籠・茶屋や川渡し場・番所等に手配されたが、未進者の発見が出来たのか効果が疑問である。村々では、宗旨改めと同時に



作成されたものに「人相帳」がある。昨年の宗旨改め帳との増減・異動を記入したもので、「増」は入人・帰参人(婚姻や養子で他村に出た人が離婚で帰村)産子。「減」は出人(他村に転出死人で)



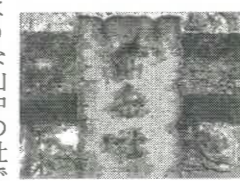
こやのせ
宿場町木屋瀬。伝統を受け継ぎ、次世代を育む長崎街道木屋瀬宿記念館。

シリーズ 筑前木屋瀬宿神仏めぐり 第二十九回 前岳神社(金剛)

神道では、今年重要なお祭りが二つ行われます。一つは60年ぶりに行われた、縁結の神様として知られる「大國主大神」(おおくにぬしのおおかみ)をまつる出雲大社の「平成の大遷宮」で、5月に行われました。また、「日本人の心ふるさと」といわれる、伊勢神宮の20年に一度の「式年遷宮」が、今年行われます。神道にとって記念すべき年でもあります。

遷宮(せんぐう)とは、ご神体やご神座を本来あったところから移し、社殿を修造し、再びご神体に御遷り頂くことです。遷座の理由の一つは、神様は、清浄でなければ、力が十分に発揮できないので、社殿や宝物を一新するとも言われています。

さて、私は、今年の8月と9月の初めにかけて、金剛の「前岳神社」に何度かお参りしました。木屋瀬宿から、二〇〇号線を横切り、笹尾川に沿って山の方へ進んでいきますと、星ヶ丘市民センターがあります。そこから左へ進みますと、向かい側に三井ハイテックの門が見えるあたりから、左に曲がり降りると、金剛公民館があります。その横に前岳神社の一の鳥居があります。



一の鳥居をくぐり真つぐ登ると、文化8年(一八一一年)の銘のある、二の鳥居があり、そこから参道の石段を登ると多くの樹木にかこまれた社(やしろ)があります。まさに、鎮守の杜(もり)神道の原点を見ような山中の社です。鬱蒼とした木立ちの世界は、神が棲んでおられるような、心安らぐ静寂な空間を醸しだしています。代々、金剛地域の人が前岳神社を産土神社(うぶすなじんじや)として大



事に守ってこられたことが感じられる境内です。また、神殿の後ろには、古い祠があり、その横の太木には注連縄が張られ、今にも神の降臨があるような雰囲気があります。また、ここは、北九州市の緑地保全地区でもあります。

社の横に建っている石碑の社歴によると、「前岳神社は、金剛本村にあり、四座を鎮め正応3年3月5日に勧請し奉ったものである。筑前統風土記付録に、四座は舞嶽山(金剛山)頂にあり、何れの頃にや、村中に建て、上宮の神を勧請し下宮と称す」と銘記してあります。

また、昭和59年に鉦書の認定を受け、鳥居、参道の石段を復旧し、あわせて神殿、拜殿等を村民や地元有志のご芳志により建設したと銘記してあります。来年は、改築より30年を経過するので、記念のお祭りをしようとの計画があると、地元の人より聞き及んでいます。前岳神社は、村人達を中心になつて神社を運営し、夏祭りや夏越の払い等には、神主を要請し、歳旦祭等は、今も村人達を中心でお祭りをしています。

前岳神社は、永い年月金剛村の人々の思いや願いの中で、「守護神」「産土神社」として、祭られ、敬われ、今も村人達の日常生活の中に息づいているように思われます。

静かさと落葉踏みしめ神の前
満月や神降臨の金剛山
本町 野口靖彦

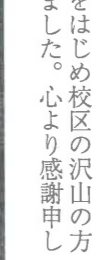
北橋市長さんもびっくり！
日本一の体操会が実現！！

元氣な木屋瀬校区「健康の会」
会長 梅本 静一

NHKの「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」(本年全国43会場、福岡県で唯一)が8月11日の日曜日午前6時、香月中央運動場に四〇〇〇人を越える人が集結して開かれました。

この体操会は「NHKのラジオ体操が木屋瀬によべんやろかねー」の木屋瀬の人の声、思いがけず市制50周年記念として実現したものです。ここ八幡南部地区にとつては、まさに世紀の大事業と云っても云い過ぎではない程の大仕事、2月の決定以来、準備に大変です。当日は、会場準備は万全、準備に大変です。入出も上々。6時半からは全国放送でのラジオ体操に北橋市長さんをはじめ、参加の老若男女、こちよい汗をかきました。大成功でした。

この大成功は、高宮自治区会長(八幡南区自治区連合会会長)さんと各町内会長さんをはじめ校区の沢山の皆様のご支援、ご協力の賜です。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



祇園宿場祭の御礼

筑前木屋瀬祇園祭では、多くの皆様のご協力・ご支援を賜り、二日間山笠巡行を無事に終える事ができました。

赤山本町六町、当番町下町総取締役という大役も成し遂げる事ができ、厚い感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。

今年は何年にも無い猛暑で、山笠巡行に際しまして、いろいろ心配をしておりましたが、掛合、行動、交通、保護の皆さんの配慮により無事に乗り切ることができました。正直ホッとしております。ご苦勞をおかけしました。山笠会館の皆様、連日の山笠製作お疲れ様でした。手造りの素晴らしい立派な山笠を須賀神社に奉納できた事誇りに思います。

また、婦人部の皆様には、多大なるご苦勞をおかけした事だと頭が下がるばかりです。木屋瀬の男衆の年一回のわがままをお許しください。本当にありがとうございました。感謝・感激です。当番町として、いろいろと至らぬ点があったとは思いますが、何卒ご容赦下さい。木屋瀬祇園祭がこれからも未永く、益々盛大な祭りになりますよう祈念いたします。関係者の皆様、本当に有難うございました。

赤山総取締 権藤 和則

長崎街道と木屋瀬

木屋瀬は室町時代すでに宿駅として有名であった。徳川の世となり幕府は交通路の整備を進め、江戸を中心



わたしの昔話

現在の大きな大堤防のない時代、川沿いや木屋瀬宿の周囲至る所に沼地や湿地があった。春はこれ等に芦草が茂り小鳥達の楽園となり賑やかな囀りが聞かれた。秋は野生の蓮の花が咲き乱れ広々とした花の浄土となつて来た。冬は沢山の鶴が渡つて来、木屋瀬宿の上を美しい姿見せて飛び交つていた。こうした四季それぞれに変化する自然の風物詩の中から、良き歌や良き踊りが生まれ川筋文化の中心として栄えていた。

(飯塚、木屋瀬 ごはんのおもて)と街道歌を共に旅する人々や、わらじを脱ぎて泊まり重ねし人々に、美しき街歩き泊まりと喜ばれていた木屋瀬宿の人達は、遠賀川の堤防に千年の歴史を秘めてそびえ立つ天神様の大銀杏に棲むと言う「天狗様」に見守られていた。

(文化九年二月二十一日)

前回企画展報告

第51回企画展「おとぎの空間展」大人気！モモマルくん(生みの親 萩若睦美が織りなす世界)【平成25年7月20日(土)〜9月8日(日)】は、今話題のゆるキャラグランプリで上位を獲得した、北九州市の人権推進マスター「モモマルくん」の紙芝居の読み聞かせなどを行なった。多くの皆様にご参加いただきました。

たなばたまつりでは、松本零士先生原作「銀河鉄道999」の映画上映会、人形ボードビル・ドラによる人形劇、星座観測が行われ、こやのせ広場では初となる縁日も催されました。

イベント実施にあたりご協力をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

夏休みイベント報告

木屋瀬宿記念館では、7月から8月にかけて夏休みイベントを実施しました。たなばたまつり、クジラ先生による講演会、同期間に行っていました企画展に合わせて、北九州市の人権推進マスター「モモマルくん」の紙芝居の読み聞かせなどを行なった。多くの皆様にご参加いただきました。

たなばたまつりでは、松本零士先生原作「銀河鉄道999」の映画上映会、人形ボードビル・ドラによる人形劇、星座観測が行われ、こやのせ広場では初となる縁日も催されました。

イベント実施にあたりご協力をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

